

2 検討課題

平成26年5月23日、「議会報告会検討会議最終報告書」に基づき、「市民の意見を聴き、それを議会で議論し、結果を報告するという一連の流れについて、工夫する」こと、および「議会における議論経過が明確になるような議会運営が必要であり、議会運営全体についても見直すべきところは見直す」こととしたことから、それぞれ下記の2点を検討課題として設定し、協議することとした。

(1) 平成26年度の議会報告会の運営方法について

平成24年度、平成25年度に開催した議会報告会では、市民の参加が少ないなど課題が残されたことから、先進地の例を参考にするため、宝塚市議会と会津若松市議会を調査し、それぞれの市議会において受けた説明や、実際に傍聴した報告会の様子を踏まえ協議していくこととした。

(2) 充実した議会運営のあり方について

検討に際して、平成19年の議会改革報告書で確認した議会本来のあり方を再確認したが、現在の議会運営は本来あるべき姿と乖離していることから、見直すべきところを見直し、これに近づけることを目的に、下記の8項目について検討を行うこととした。

- ①委員会審査を行った後に一般質問を行うこと
- ②議員間討議の充実（委員会審査の見直し）
- ③予算決算常任委員会の設置
- ④反問権の付与
- ⑤議会活動の見える化
- ⑥一問一答制の検証
- ⑦発言時間の見直し
- ⑧常任委員会の活用